



改築が待たれる竜丘公民館

新年を迎えて

竜丘地区自治協議会長 岩崎 傳一

明けましておめでとございます。すがすがしい新春を迎え、地区の皆様のご多幸とご健康をまずもってお祈り申し上げますとともに、平素お寄せいただいたご支援、ご協力に対し心からお礼を申し上げます。

昨年の四月自治会長として就任以来、その職務の遂行に努力しているところでありますが、責任の重大さをあらためて痛感しているところでもあります。地区の皆様と心を一つにして、気持ちを引き締め一杯の努力をする決意であります。さて、二十一世紀を間近にして竜丘地区の当面する諸問題について申し上げます。

まず、下水道の整備計画であります。市では市民皆水洗化に向けて飯田下水道整備基本計画を策定され、昨年発表されました。この計画は向こう十八年間で、(平成二十三年を目標)に

全体事業費約一千億円近い巨費を投じ、市内全世帯を水洗化する云々壮大な計画です。当竜丘地区の計画は公共下水道事業、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業等の制度を主として取り入れることになっております。実施予定年度等については、各区ごとに研究会を開催いたしておりますので、ご承知のとおりであります。長期に亘る計画でありますので、制度の改正など社会情勢の変化で実施年度は異なってくることも考えられます。いざれにしても下水道整備は私共一番の願いであります。終末処理場の問題等解決しなければならぬ課題が、本年は具体化して参りますので、この事業促進のために地区の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

長年の懸案でございます。天竜川治水事業につきましては、地区推進協議会、地権者組合関係の皆様のご理解とご協力により、順調に進んでおり、建設省が行う河川整備事業の築堤盛土工事におきましては、本年竜丘、川路それぞれ三百メートルの施工が確定いたしました。市におきましてはこの築堤に併せて裏盛

土をするよう準備が進められております。そのため、桐林の土取場から搬出することになります。この運搬道路については安全対策措置を講じ近日中に完成の運びとなっております。盛土事業は平成八年度後半か、平成九年に着工し平成十四年に事業が完了する予定であります。特にこの地域は、拠点都市整備法に基づく拠点地区に指定されており、また三遠南信自動車道、天竜峡インターの設置など、将来どのような地域にするのか、具体的な土地利用計画の方向が求められてきますので、関係の皆さんと協議を重ねて参りたい所存でございます。

新しい竜丘公民館の建設であります。建設委員会を中心として建設に向けて今日まで慎重に検討を重ねております。将来的展望に立ち最も適当な方向に、今後更に関係の皆さんに相談申し上げ、二十一世紀を迎え新しい時代にふさわしい、公民館が建設出来まよう取り組みをして参りたいと思っております。

白井原工業団地問題につきましては、市において引き続き地権者の皆様方のご理解を得よう鋭意努力をいたしておりますが、関



発行所
飯田市竜丘公民館
編集人
竜丘公民館広報委員会
印刷所
龍共印刷株式会社
飯田市上郷黒田 ☎22-5353

人口	6,736人
男子	3,304人
女子	3,432人
世帯数	1,956戸
(7年12月末現在)	

花咲き香る道へ

桐林壮年会植樹

桐林壮年会(牧内保夫会という発想で事業を計画し、会員百十二名)では、昨年十一月十九日・二十三日の二日にわたり、市の補助・地元企業の賛助を受け、桐林運動広場と国道の原鉄を結ぶ市道へ二百本の植樹を行いました。

桐林壮年会は、地区の発展と会員の親睦を目的に、平成四年に発足し、桐林八幡社の秋祭の際に花火打ち上げなどの事業を行ってききました。

今回の植樹は、今年度の事業の柱で、花火だけでなく地区内の問題に取り組みうと研究を重ね、松喰虫や土取場などで地区内の緑が少なくなってきたので、せめて街路樹でも植えたら



元気に育てよ

係者の深いご理解と協力をいただいたかなければ解決できない難しい課題であると思っております。

また、地区内の道路整備計画等については、市をはじめ関係機関へ事業推進に向けて一層の取り組みを参る所存でございます。

以上、当面する課題等につきまして、所感の一端を申し述べましたが、よりよい地域づくりのために地区の皆様のご協力を心からお願い申し上げます。

植樹は二日に分け、十九日に草刈・穴掘を行い、二十三日に植樹・添え木の設置を完了しました。

二日間で、述べ百十名の会員が参加し、初冬の寒空の中、一生懸命に作業に取りかかっていました。

植樹の中で、会長さんは「ムトス飯田まちづくり事業助成」の補助を受け、各々五十本づつ植樹の予定でしたが、オムロン飯田さんより協力の申し出があり、実際には、二倍の百本づつ植樹を行うことができました。

植樹は二日に分け、十九日に草刈・穴掘を行い、二十三日に植樹・添え木の設置を完了しました。こつこつと市助成金で地域の活性化が図れたことについて、大変良かった、また、快く協力をいただいたオムロン飯田さんへ感謝したいと話してくれました。

快適な環境をめざして

進む下水道事業

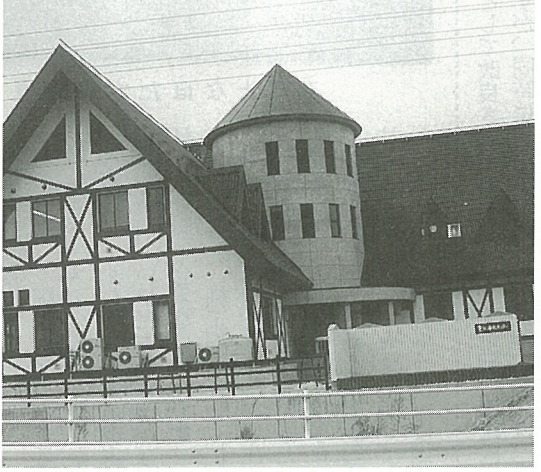
竜丘地区の下水道工事が、実施に向けて大きく動き出した。今回対象となるのは、主に時又、長野原、桐林、上川路の四地区です。

土地利用計画の見直しにより、農業振興地域から平地の大部分がはずれる桐林、上川路が、農業集落排水事業(農水省が所管)から、時又、長野原が進めていた「特定環境保全公共下

水道(特環下水道事業)一建設が所管」へと変更されました。

特環下水道事業の実施地域が、平成七年度に確定されることになり、この計画が大きく前進してきました。

今後の計画では、平成八年度一千万の予算、十月に国の事業認可予定、平成九年度一千万の事業開始、平成十二年度一千万の完成予定



モダンなつくりの豊丘浄化センター

対象総面積は百八十四ヘクタール。第一期工事は百ヘクタール(主に下段から)第二期事八十四ヘクタール(主に上段)それぞれに、事前に基本設計及び説明会を開く予定。下水処理場は、治水対策事業による盛土地域が最適地とされている。個人負担については、宅

地内配管費用・受発着負担金・使用料などです。

特環下水道事業は、飯田市でも初めて導入するため、細部については、未確定な部分もあるそうです。予想以上に進みの早い下水道事業に対して、地域のみならず、各家庭での対応も必要とされています。

「もういつか寝るとお正月の期間は長くて、いざ正月になるとあつという間に休みは終わってしまうものですが、お宅の正月はいかがでしたか。

近ごろは何でも金を出せば手に入る時代。松飾りもちを家庭で作る家は減っていますか。

理由はいろいろあるでしょうが、年末は忙しくて作っている暇がないという家庭も少なくないでしょう。当の私も、大晦日まで仕事でした。仕事に飾り作りや、もちつきをしてい

る家を見かけると、「我が家でもできるものならば……」との思いでした。

おせち料理を作る家庭も減っていませんか。店へいけば色鮮やかできれいに盛りつけたものがいっぱい並んでいます。日本特有のおせち料理でもその材料は、七・八割が輸入品だそうです。おせち料理の材料までは気にしないようですが、材料を選び家庭で作るというのもだいたいなものです。

正月の子供達の遊びはどうでしょう。たこあげやかるたとりといった遊びもあまりなく、いつものテレビゲームをしてすごしたという子供達が多かったのではないのでしょうか。自分達でたこを作ってあげるという楽しみなど知らずに、大人になってしまいう子供達にどこかさびしさを感じます。

ほしいものは何でも金を出せば揃う今、なにも時代を逆行し手づくりのこたわりの必要もないでしょうか、家庭の味や家族のつながりは、節目でもある正月という時期にでも、いま一度考え直してみてもどうでしょうか。

ヤラフ奴

「もういつか寝るとお正月の期間は長くて、いざ正月になるとあつという間に休みは終わってしまうものですが、お宅の正月はいかがでしたか。

近ごろは何でも金を出せば手に入る時代。松飾りもちを家庭で作る家は減っていますか。

理由はいろいろあるでしょうが、年末は忙しくて作っている暇がないという家庭も少なくないでしょう。当の私も、大晦日まで仕事でした。仕事に飾り作りや、もちつきをしてい

る家を見かけると、「我が家でもできるものならば……」との思いでした。

おせち料理を作る家庭も減っていませんか。店へいけば色鮮やかできれいに盛りつけたものがいっぱい並んでいます。日本特有のおせち料理でもその材料は、七・八割が輸入品だそうです。おせち料理の材料までは気にしないようですが、材料を選び家庭で作るというのもだいたいなものです。

正月の子供達の遊びはどうでしょう。たこあげやかるたとりといった遊びもあまりなく、いつものテレビゲームをしてすごしたという子供達が多かったのではないのでしょうか。自分達でたこを作ってあげるという楽しみなど知らずに、大人になってしまいう子供達にどこかさびしさを感じます。

ほしいものは何でも金を出せば揃う今、なにも時代を逆行し手づくりのこたわりの必要もないでしょうか、家庭の味や家族のつながりは、節目でもある正月という時期にでも、いま一度考え直してみてもどうでしょうか。

文化がつなぐ人々の輪

竜丘文化祭・スポーツ祭

去る十一月二十五、六日竜丘小学校に於いて、文化祭ならびにスポーツ祭が開催された。今年度は文化祭のマンネリ化を打開すると同時に、文化、体育両委員の企画により、さらなる盛り上げを目標とする意味から、スポーツ祭も同時進行で行なわれた。

今年はいつより一週間遅い開催となりましたが晴天に恵まれ、昨年を上回る大勢の来場者で賑わいました。

二十五日(土)、十一時、開会セレモニーにて始まり、展示品の公開、喫茶、交通安全協会によるまなび号で

の運転シミュレーション、校庭では体育委員会主催のスポーツ祭で、キックベースが行われ、子供達が元気にボールを追い回っていました。

二十六日は、午前九時三十分から始まり、体育館ではステージにて、ス



はなばなしく、開会セレモニー

ポーツ祭二日目という事で、ダンス(矢投げ)、クロリティー(輪投げ)というゲームが行われ、子供達が勢い集まって賑わっていました。その脇ではボランティアの会の不用品バザー、生活改善グループの野菜販売が行われ人目を引いていました。又、郵便局による切手販売、各分館の特色ある発表や、グループ活動での作品、保健指導員会では-%の味噌汁を試食してもらったり、青年会では沖繩の平和を訴える署名呼びかけ多くの方が協力していました。

校庭では十一時から鈴岡太鼓の皆さんが、力強い太鼓の音色を響かせてくれました。続いて飯田商工会議所竜丘支部による餅と宝投げが行われ文化祭に賑わいを添えていました。又、喫茶コーナーでは婦人会、青年会により、おしるこ、おでん等のメニューで文化祭に訪れた人々の冷えた体をあたためてくれました。又、

昨年好評だった古代食試食会を今年も行ない訪れた人々にふるまって下さいました。

又、あゆみ園、明星学園の皆さんも力作を展示して下さいました。身体障害者福祉協会の皆さん、社会福祉協議会による介護相談や介護用品の展示等で、福祉についても考えさせられる機会となりました。

今年度は新たな試みとして昨年までの子供広場を、体育委員会主催のスポーツ祭とし併催され、子供達の笑い声が文化祭を盛り上げてくれていました。

文化祭を通じ改めて竜丘の文化活動の盛んな事が感じられました。これからも日々の学習を積み、その成果を持ち寄りより良い竜丘をつくりましょう。

いよいよ着工!!

治水対策事業竜丘工区築堤工事

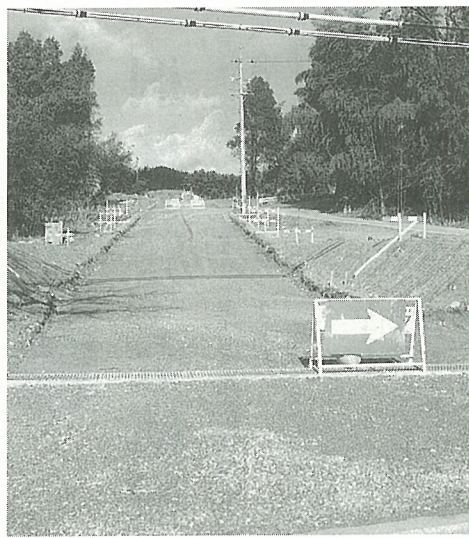
天竜川治水対策事業で、龍江側に引き続きいよいよ竜丘側の築堤工事がこの二月から始まります。

今年度工事として、竜丘工区、川路工区ともに三百メートルの築堤工事が発注されています。

竜丘工区については時又港から下流に向かって築堤工事が行われますが、それ

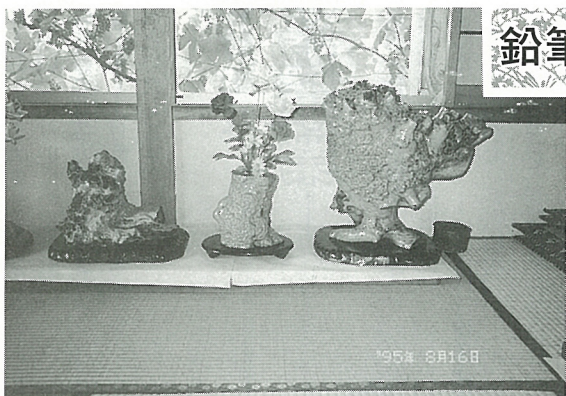
にともない工事用の土砂運搬道路として桐林の塚原から時又の島地区を通り、時又港に至る道路の改良工事が急ピッチで進められています。

この道路改良工事は、桐林の土取り場から約四万九千立方メートルのぼろ大量の土砂が搬出されるため、工事用の大型車の通行する道



工場のすすむ運搬道路

自然の物に手を加え 老後をエンジョイ



鉛筆がついて

が、五・六年程前から本格的に始められ、今までに五十個以上の作品を仕上げられ、花立ての場合には穴あけや水を入れる筒を作るといった作業が増えますが、すべて自分でやられており、とても器用な方だということを感じていました。

作品の中には、昨年のえとの猪に似たものや今ではあまり見られない火鉢もあるそうで、今後は文化祭などに出品していただき、一般の方の目に触れる機会もつくっていただけたらと思います。

みごとなたほた木の花立て

今回の鉛筆がついて、山で見つけてきたほた木で花立てを作るという趣味をお持ちの桐林の中島照会さんです。中島さんは、以前からほた木細工に興味を持っていて、たそうです。

細工の材料となるカシオスミの木はなかなか根が太くならない貴重な木で、良いほた木にはなかなか巡り会えないそうです。

細工をしていく工程としては、まず山から生木のうちに掘り出してきたほた木の表面の皮を小さなドライヤーで剥くことから始まります。一通り剥いてしまっ

青年の主張

私は今年成人式を迎えることになり、いよいよ大人の仲間入りすることとなりました。と、いってまだまだ自覚がなく、今まで通りの生活を送っているのが現状です。社会の見方も大人として見るし、自分自身の考え方も変えなければいけないと思います。

就職して二年目になり、いろいろな先輩に出会い、また後輩もでき楽しく仕事をしています。楽しいばかりではなく悲しい事も悩んだ事もあるけれど、

成人式を迎え

桐林・塩沢 昭恵



生活に仕事に社会の一人の大人としての責任をもった行動をとりたいなと思

そして私のまわりには忘れてはいけない仲間がたくさんいます。それは竜丘青年会の人々です。「えっ、青年会に入っているの?」とよく言われ

もちろん職場や生活もまったく違う仲間ですが、スポーツや遊びなどを通して自分を磨くことができると思います。こ

最後に地域のみなさん、まだまだ未熟な私達ではありますが、御指導の程をよろしくお願いします。

消防団長野原班に 高性能可搬ポンプ 導入される

導入される

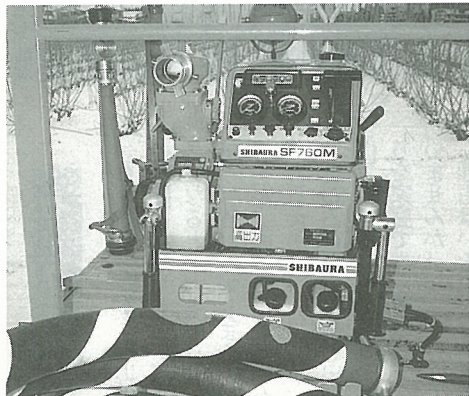
消防団は、地域防災の要として大きな期待が寄せられていて、今まで諸活動を展開してきました。特に火災予防に関しては常に全団員一丸となって常に力を注いできました。

昨年十一月、長野原班詰所に、かねてからの念願であった、高性能高出力の可搬ポンプが新しく配置されました。

今回導入された可搬ポンプは、石川島播磨製の高出力タイプ(シバウラSF7

六〇M・出力六十馬力)で関係者を招いての入魂式も盛大に行われ、正式に長野原班の一員として活動が始まりました。

今までのポンプとは、格段の違いの性能、今後の消防活動のスピードアップ、消防能力の向上



一方竜丘、川路両工区の起工式が二月九日、建設省主催で関係者約二百余名を集めて行われる予定ですが、これにより平成十四年完成に向けて築堤と盛り土、区画整理が本格化します。今後の地域の発展に期待がかけられています。

しかし、この可搬ポンプが、火災により出動することのないように、各家庭で火の元などには、十分に気を付けたいものです。

今後の長野原班の活躍に期待をします。